

2018年3月期

決算説明会 プレゼンテーション資料

2018年5月25日

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

INDEX

I. 決算の概要

- 1. 決算概要(連結、セグメント別) …P3
- 2. 損益計算書(連結、個別) …P5
- 3. 部門別の概況 …P7
- 4. 貸借対照表(連結、個別) …P13
- 5. キャッシュ・フロー(連結) …P17

II. 中期経営計画の進捗

- 1. 中期経営計画 基本方針 …P19
- 2. 中期経営計画 目標と実績・予想 …P20
- 3. 中期経営計画 経営指標と実績 …P21
- 4. 中期経営計画 重点施策 …P22
- 5. 「収益基盤の更なる強化」の概要 …P23
- 6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた
取り組み …P25

III. 2019年3月期 業績見通し

- 1. 2019年3月期の業績見通し(連結) …P29
- 2. 配当 …P30

I. 2018年3月期 決算の概要



1. 2018年3月期 ①決算概要(連結)

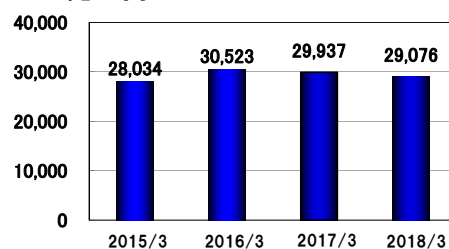
● 経営環境

- 保護貿易主義の拡大や地政学リスク等の影響により先行き不透明な状況
- 企業業績は堅調に推移し、雇用・所得が改善。自動化、機械化の進展により設備投資は緩やかに増加。

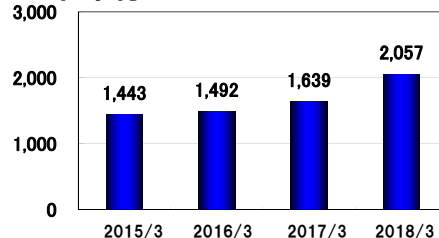
● 決算概要

- 売上高は、資源・金属素材関連事業で、市況が回復するも、販売数量減により減収
- 利益はポンプ類の販売やメンテナンス事業が好調に推移したことから前期比増益
- 経常利益、当期純利益は過去最高益を達成
- 売上高・・・ 290億7千6百万円(前期比 ▲2.8%)
- 経常利益・・・ 20億5千7百万円(前期比+25.5%)
- 当期純利益・・・ 15億1千4百万円(前期比+12.3%)

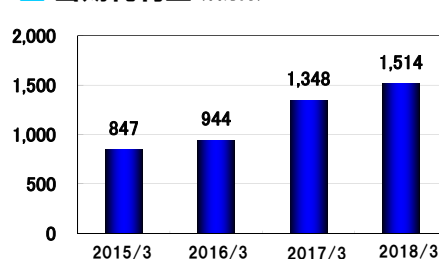
■ 売上高 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)

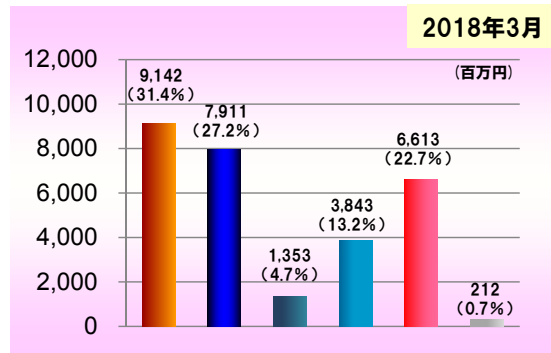
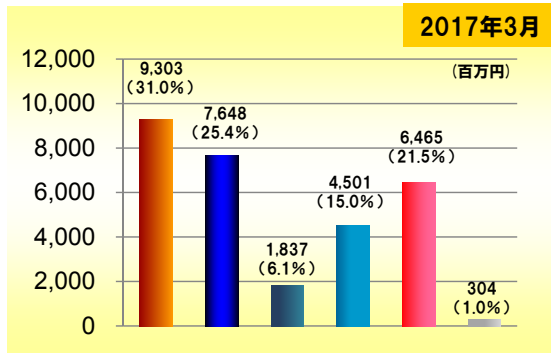


■ 当期純利益 (百万円)

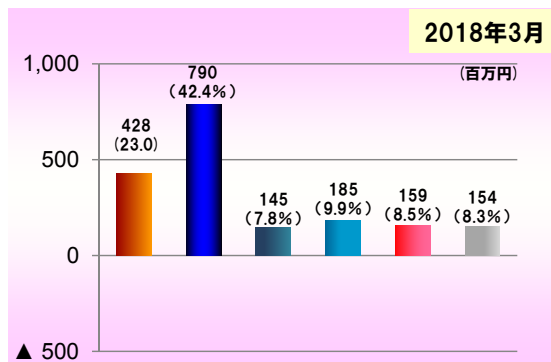
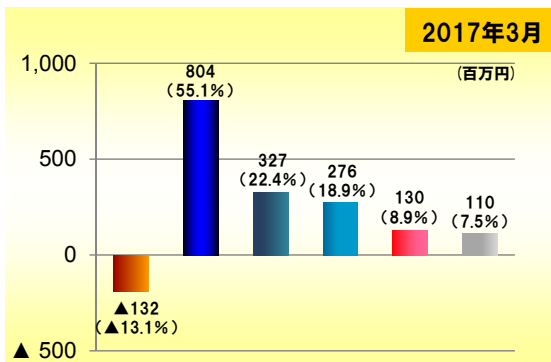


1. 2018年3月期 ②決算概要(セグメント別)

● 売上高



● 営業利益



注)
①売上高はセグメント間の内部売上高を含む。
②営業利益の構成比は、全社費用を除く報告セグメント合計を分母として算出。

1. 2018年3月期 ①損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	前期 (2017.3)		当期 (2018.3実績)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	29,937	100.0	29,076	100	▲861	▲2.9
資源・金属素材関連	9,303	31.1	9,142	31.4	▲161	▲1.7
産機・建機関連	7,646	25.5	7,911	27.2	265	3.5
環境・設備関連	1,837	6.1	1,353	4.7	▲484	▲26.3
プラント・設備工事関連	4,501	15.1	3,843	13.2	▲658	▲14.6
化成品関連	6,465	21.6	6,613	22.7	148	2.3
不動産賃貸関連	182	0.6	212	0.7	30	16.5
売上総利益	5,343	17.8	5,803	20.0	460	8.6
販売費及び一般管理費	3,883	12.9	3,939	13.5	56	1.4
営業利益	1,459	4.9	1,863	6.4	404	27.7
営業外収支	180	0.6	194	0.7	14	7.8
経常利益	1,639	5.5	2,057	7.1	418	25.5
特別利益	178	0.6	-	-	▲178	-
特別損失	2	0.0	0	0.0	▲2	-
税引前当期利益	1,816	6.1	2,057	7.1	241	13.3
当期純利益	1,348	4.5	1,514	5.2	166	12.3
1株当り当期純利益(円)	119.52		133.42		13.9	
1株当り配当金(円)	24		33		9	
配当性向(%)	20.1		24.7		4.6	

1. 2018年3月期 ②損益計算書(個別)

(単位:百万円・%)

	前期 (2017.3)		当期 (2018.3実績)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	18,790	100.0	18,451	100	▲339	▲1.8
資源・金属素材関連	9,303	49.5	9,142	49.5	▲161	▲1.7
産機・建機関連	7,648	40.7	7,955	43.1	307	4.0
環境設備関連	1,837	9.8	1,353	7.3	▲484	▲26.3
売上総利益	4,245	22.6	4,749	25.7	504	11.9
販売費及び一般管理費	3,305	17.6	3,385	18.3	80	2.4
営業利益	940	5.0	1,364	7.4	424	45.1
営業外収支	46	0.2	59	0.3	13	28.3
経常利益	986	5.2	1,423	7.7	437	44.3
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	2	0.0	0	0.0	▲2	-
税引前当期利益	984	5.2	1,423	7.7	439	44.6
当期純利益	653	3.5	962	5.2	309	47.3
1株当り当期純利益(円)	57.46		84.11		26.65	

6

2. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- 主力のジルコンサンドは、市況価格の持ち直しにより増収
- 金属シリコンは、販売数量は前期を下回り、販売単価も低迷し、前期比減収

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2016.3)	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	前期との差 (%)	前々期 (2016.3)	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	前期との差 (%)
ジルコンサンド	3,374	2,787	2,876	88 (3.2)	3,355	3,229	2,466	▲763 (▲23.6)
チタン原料	1,366	1,011	1,025	14 (1.4)	1,368	1,096	1,063	▲33 (▲3.0)
輸入原料	1,136	1,052	1,698	645 (61.3)	1,156	1,216	1,851	635 (52.2)
金属シリコン	4,019	3,631	3,224	▲408 (▲11.2)	3,801	3,519	3,357	▲162 (▲4.6)
その他商品	754	821	320	▲501 (▲61.0)	739	899	306	▲593 (▲66.0)
合計	10,650	9,303	9,143	▲161 (▲1.7)	10,421	9,960	9,043	▲917 (▲9.2)
粗利益率	6.24	5.06	11.52	6.46	6.26	5.05	12.07	7.02

7

2. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 産業機械は、国内の民間企業向け各種ポンプ類の販売が堅調に推移
- 建設機械は海外向けシールド掘進機に一巡感もあり売上高、受注高ともに減少

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2016.3)	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	前期との差 (%)	前々期 (2016.3)	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	前期との差 (%)
ワーマンポンプ	3,267	3,018	3,126	107 (3.6)	2,976	3,038	3,285	247 (8.1)
ヒドロスタルポンプ	1,586	1,692	1,658	▲34 (▲2.0)	1,482	1,803	1,529	▲275 (▲15.2)
その他ポンプ	427	518	480	▲38 (▲7.4)	445	494	489	▲6 (▲1.1)
その他産業機械	1,102	1,087	1,761	674 (62.0)	995	1,249	1,971	721 (57.7)
産業機械 計	6,383	6,316	7,025	709 (11.2)	5,900	6,585	7,273	687 (10.4)
シールド掘進機	1,357	1,140	791	▲350 (▲30.7)	1,220	1,154	1,177	22 (1.9)
その他建設機械	279	192	140	▲52 (▲27.0)	202	190	141	▲49 (▲25.9)
建設機械 計	1,636	1,332	931	▲402 (▲30.1)	1,423	1,345	1,318	▲28 (▲2.1)
合計	8,020	7,648	7,956	307 (4.0)	7,324	7,931	8,591	659 (8.3)

8

2. 部門別の概況 ③環境設備関連

- スラグ製造設備は工期の延長により、売上高、受注高は大幅減少
- プツマイスターポンプ、高圧ポンプ関連も、納期の延期により売上高、受注高ともに大幅減少

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2016.3)	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	前期との差 (%)	前々期 (2016.3)	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	前期との差 (%)
水砕スラグ製造設備	451	531	402	▲130 (▲24.5%)	1,127	451	261	▲191 (▲42.2%)
プツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	600	882	684	▲199 (▲22.5%)	688	1,013	725	▲289 (▲28.5%)
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	260	423	267	▲156 (▲36.8%)	323	353	313	▲40 (▲11.4%)
合計	1,312	1,837	1,353	▲485 (▲26.4%)	2,139	1,817	1,298	▲520 (▲28.6%)

9

2. 部門別の概況 ④プラント・設備工事関連

- 子会社旭テックが担うセグメント
- 大口案件の工期延長などから減収減益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	増減額	増減率	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	増減額	増減率
プラント・設備工事関連	4,501	3,853	▲648	▲14.4	4,247	4,095	▲152	▲3.6

10

2. 部門別の概況 ⑤化成品関連

- 子会社イズミが担うセグメント
- 自動車関連及び一部電線業界が堅調に推移
- 原油価格が安定的に推移したことから、販売価格が安定
- 販売効率化、経費削減効果により、増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	増減額	増減率	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	増減額	増減率
化成品関連	6,465	6,613	148	2.3	6,361	6,773	412	6.5

11

2. 部門別の概況 ⑥不動産賃貸関連

- 子会社ラサ・リアルエステートの担うセグメント
- 当社グループ全体での一体運営を徹底
- オフィスビルの稼働状況は100%と良好
- 遊休資産を売却し、賃貸物件への買換を実施

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	前期比	
			増減	増減率
不動産賃貸関連	304	333	29	9.5

12

3. 貸借対照表(連結) ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2017.3)		当期末 (2018.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	15,917	57.4	17,047	57.5	1,130	7.1
現金及び預金	2,768		4,249		1,481	53.5
受取手形及び売掛金	8,415		8,929		514	6.1
完成工事未収入金	1,090		857		▲233	▲21.4
商品及び製品	2,348		1,343		▲1,005	▲42.8
未成工事支出金	1,017		1,350		333	32.7
その他	277		314		38	13.8
固定資産	11,834	42.6	12,585	42.5	751	6.3
有形固定資産	8,298	(29.9)	8,503	(28.7)	205	2.5
土地	5,933		6,245		312	5.3
建物及び構築物	2,188		2,093		▲95	▲4.3
その他	176		164		▲12	▲6.8
無形固定資産	50	(0.2)	30	(0.1)	▲20	▲40.0
投資その他資産	3,484	(12.5)	4,052	(13.7)	568	16.3
投資有価証券	2,658		3,110		452	17.0
その他	825		942		117	14.2
資産合計	27,751	100.0	29,633	100.0	1,882	6.8

13

3. 貸借対照表(連結) ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2017.3)		当期末 (2018.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	8,770	(31.6)	9,075	(30.6)	305	3.5
支払手形及び買掛金	4,166		4,340		174	4.2
工事未払金	257		410		153	59.5
短期借入金	1,400		1,667		267	19.1
1年内返済予定の長期借入金	1,345		1,190		▲155	▲11.5
1年内償還予定の社債	169		-		▲169	▲100.0
未払法人税等	468		435		▲33	▲7.1
その他	963		1,030		67	▲7.0
固定負債	6,017	(21.7)	4,858	(16.4)	▲1,159	▲19.3
社債	-		-		-	-
長期借入金	5,146		3,991		▲1,155	▲22.4
繰越税金負債	477		483		6	1.3
退職給付に係る負債	206		118		▲88	▲42.7
その他	186		264		78	41.9
負債合計	14,788	53.3	13,934	47.0	▲854	▲5.8
株主資本	12,744		15,312		2,568	20.2
その他の包括利益累計額	218		386		168	77.1
純資産合計	12,963	46.7	15,698	53.0	2,735	21.1
負債純資産合計	27,751	100.0	29,633	100.0	1,882	6.8
自己資本比率(%)	46.7		53.0		6.3	

14

3. 貸借対照表(個別) ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2017.3)		当期末 (2018.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	10,803	61.4	10,809	56.9	6	0.1
現金及び預金	1,861		2,623		762	40.8
受取手形	1,891		2,183		292	15.4
売掛金	4,558		4,520		▲38	▲0.8
商品	2,291		1,308		▲983	▲42.9
その他	200		171		▲29	▲14.5
固定資産	6,783	38.6	8,192	43.1	1,409	20.8
有形固定資産	664	(3.8)	665	(3.5)	1	0.2
土地	464		464		0	0.0
建物	130		122		▲8	▲6.2
その他	69		76		7	10.1
無形固定資産	35	(0.2)	20	(0.1)	▲15	▲42.9
投資その他資産	6,083	(34.6)	7,506	(39.5)	1,423	23.4
投資有価証券	944		1,221		277	29.3
関係会社株式	4,279		4,739		460	10.8
保険積立金	618		731		113	18.3
その他	240		812		572	238.3
資産合計	17,586	100.0	19,001	100.0	1,415	8.0

15

3. 貸借対照表(個別) ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2017.3)		当期末 (2018.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	5,335	(30.3)	5,222	27.5	▲113	▲2.1
支払手形	1,255		1,463		208	16.6
買掛金	1,387		1,268		▲119	▲8.6
短期借入金	700		720		20	2.9
1年内返済長期借入金	903		758		▲145	▲16.1
1年内償還予定の社債	160		-		▲160	▲100.0
未払法人税等	330		378		48	14.5
その他	598		630		32	5.4
固定負債	1,312	(7.5)	668	3.5	▲644	▲49.1
社債	-		-		-	-
長期借入金	1,091		367		▲724	▲66.4
退職給付引当金	155		93		▲62	▲40.0
その他	66		206		140	212.1
負債合計	6,648	37.8	5,891	31.0	▲757	▲11.4
純資産合計	10,938	62.2	13,110	69.0	2,172	19.9
負債純資産合計	17,586	100.0	19,001	100.0	1,415	8.0
自己資本比率(%)	62.2		69.0		6.8	

16

4. キャッシュ・フロー (連結)

(単位:百万円)

	前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	当期の主要項目	
営業キャッシュ・フロー	3,837	2,174	税金等調整前当期純利益	2,057
			減価償却費	222
			売上債権の増減額(▲は増加)	▲282
			たな卸資産の増減額(▲は増加)	669
			仕入債務の増減額(▲は減少)	327
			法人税等の支払額	▲627
投資キャッシュ・フロー	▲1,385	▲524	有形固定資産の取得による支出	▲351
			保険積立金の積立による支出	▲222
			保険積立金の払戻による収入	86
財務キャッシュ・フロー	▲2,743	▲168	長期借入金の純増減(▲は減少)	▲1,310
			短期借入金の純増減額(▲は減少)	267
			社債の償還による支出	▲169
			株式の発行による収入	445
			自己株式の処分による収入	961
			配当金の支払額	▲354
換算差額	▲0	▲0		
増減	▲290	1,481		
期首残高	3,059	2,768		
期末残高	2,768	4,249		

17



Ⅱ. 中期経営計画の進捗

 ラサ商事株式会社

18

1. 新中期経営計画 基本方針

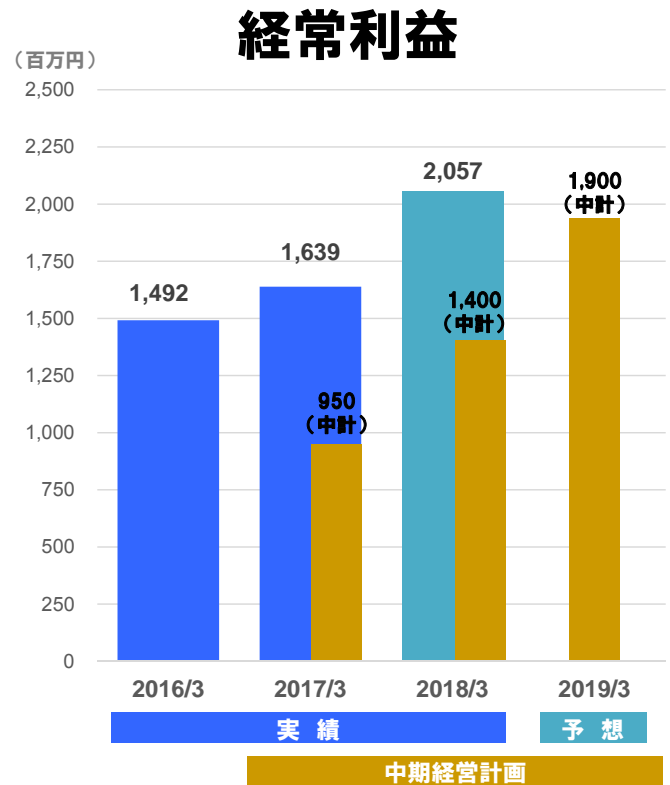
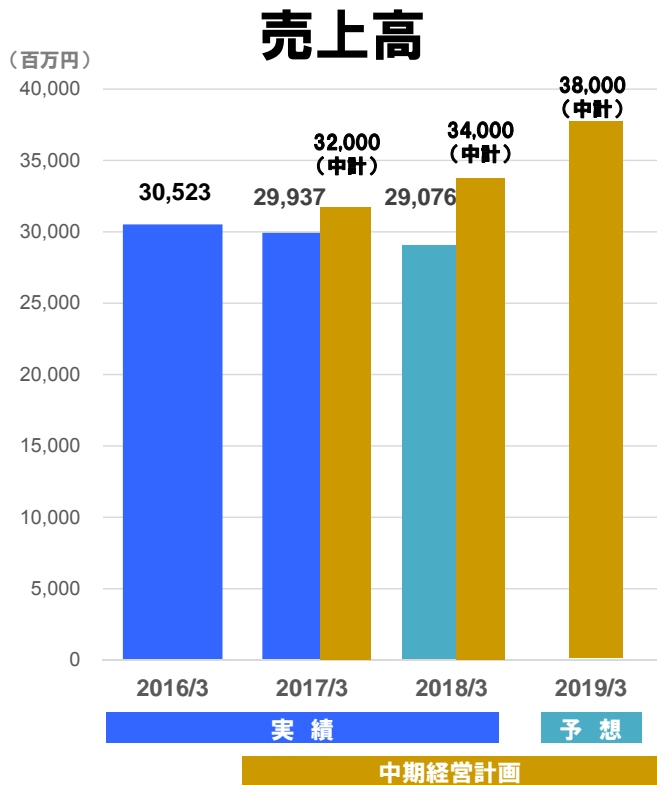
「Next Stage Rasa 2018 ～80周年への布石～」

中期経営計画
基本方針

- ① 変革の好機と捉え、重点施策の推進により企業価値向上を目指す
- ② 創立80周年に向け、専門商社の枠組みを超えた付加価値創出企業として、持続的な成長を目指す
- ③ 当中計から配当方針を見直し、株主価値の極大化に努める。

19

2. 中期経営計画 目標と実績・予想(連結)

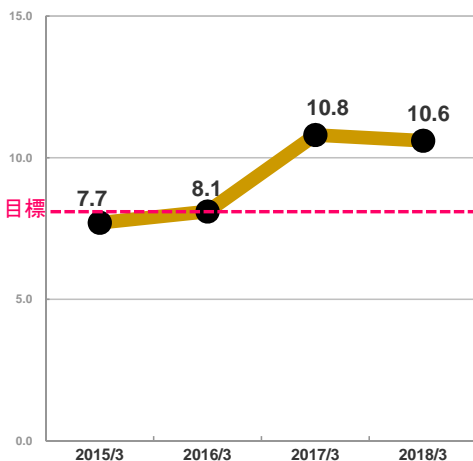


3. 中期経営計画 経営指標と実績(連結)

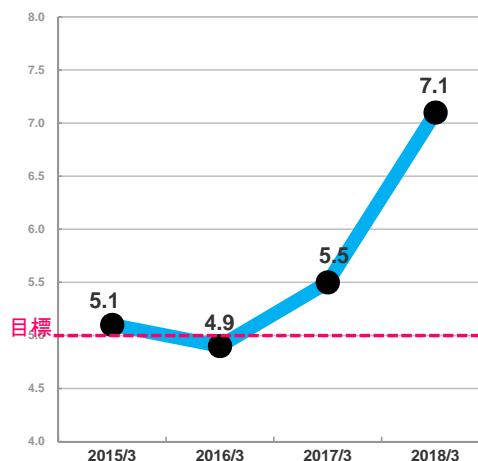
経営指標

- ①自己資本当期純利益率 (ROE) 8%以上
- ②売上高経常利益率 5%以上
- ③自己資本比率 50%以上

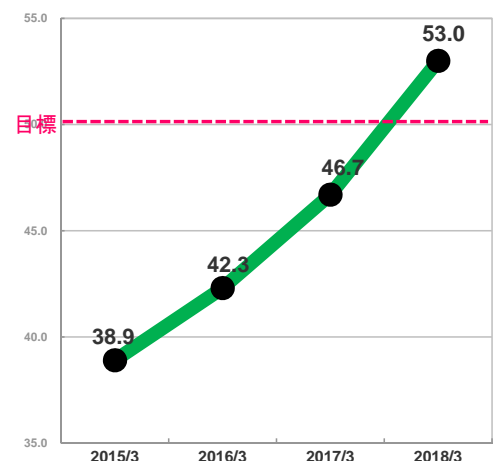
ROE (%)



売上高経常利益率 (%)



自己資本比率 (%)



4. 新中期経営計画 重点施策

「Next Stage Rasa 2018 ～80周年への布石～」

中期経営計画
重点施策

2つのテーマに取り組む。

1

収益基盤の更なる強化

- ・各事業における強みの強化と新たな収益基盤の創出
- ・事業間シナジーの創出

2

経営基盤の更なる強化

- ・新基幹システムの導入
- ・グループ企業間の人的交流推進
- ・コーポレートガバナンスの更なる充実

22

5. 「収益基盤の更なる強化」の概要

① 各事業における強みの強化と新たな収益基盤の創出

資源・金属素材関連

- 相場変動に対応できる鉱産物在庫水準の見直し

産機・建機関連

- 国内シェアNo.1のスラリーポンプにおける更なるシェア拡大
- BCP関連製品(多目的可搬式ポンプ)の販売拡大

環境設備関連

- コンサルティング営業によるポンプ関連製品の販売強化
- 石炭ガス化複合発電所向けのラサシステム導入推進

プラント・設備工事関連

- 既存顧客の設備更新需要の取り込み強化
- 新工場稼働による新規事業の拡大(ステンレス配管事業・ポンプ整備事業など)

化成品関連

- 国内顧客の海外生産移管に対応した海外向け需要の取り込み強化

不動産賃貸関連

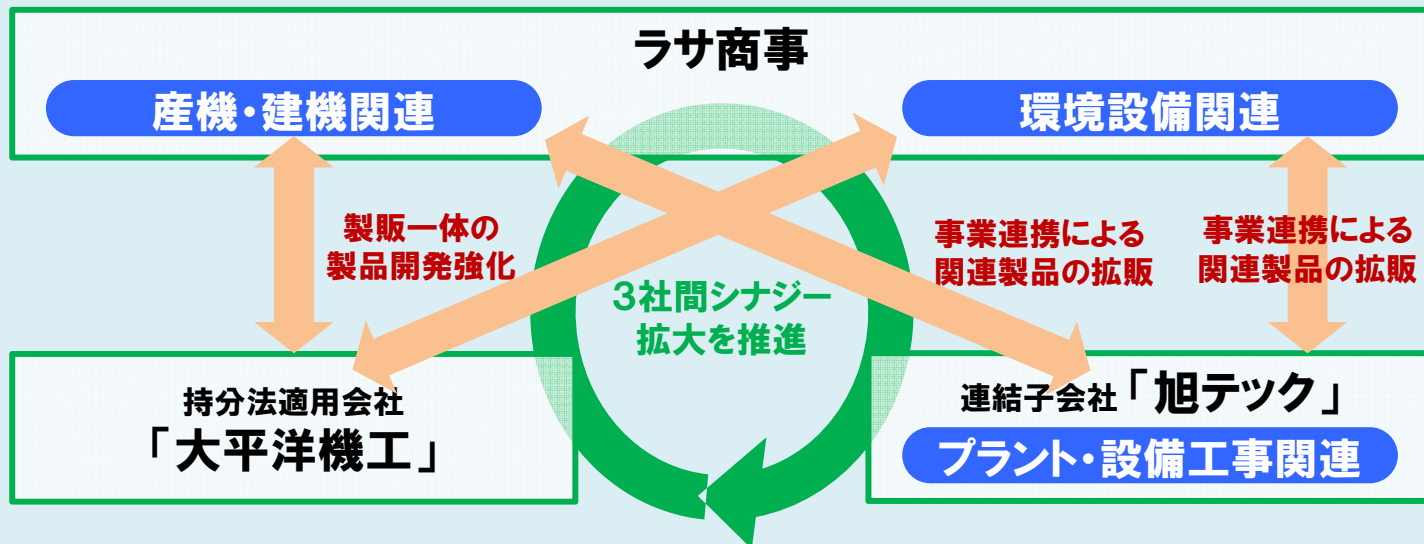
- グループ遊休地の更なる有効活用の推進
 - ・飯能工場跡地の有効活用
 - ・八潮駐車場の事業化検討 など

23

5. 「収益基盤の更なる強化」の概要

② 事業間シナジーの創出

特に、将来的に大きな事業連携効果が見込まれる**機械関連3事業間シナジー**および**当社を含む関連3社間シナジー**の追求を強力に推進



24

6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み

① 新製品BETSY販売開始



浸水被害対策など様々な現場で使用可能な多目的可搬式エンジンポンプユニット

「**BETSY**」を2016年5月下旬より販売開始

※BETSY(ベッツィー)とは
Bifunctional **E**fficient **T**ransfer-pump **S**ystem
の略

【BETSYの特徴】

- ✓ 自吸式無閉塞型ポンプの採用で異物が詰まりにくい
- ✓ コンパクト設計だから牽引・積載が容易
- ✓ ディーゼルエンジンの採用で低燃費、且つ静音設計
- ✓ 水位変動を検知して自動制御運転が可能

25

6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み

②旭テック新工場完成、稼働開始



旭テック本社、第Ⅰ・Ⅱ工場



第Ⅰ工場内観

旭テック(株)概要

- 本社:千葉県袖ヶ浦市
- 2014年12月子会社化。プラント・設備工事関連事業を担う
- 京葉臨海コンビナートに施設を展開する約50社の大手企業のプラントについて、建設工事の設計・施工からメンテナンス工事まで一貫対応、元受比率も50%
- 袖ヶ浦の自社工場では、プラント等で使用する各種の配管などの加工を行う
- 大手ポンプメーカーの認定工場

2017年4月より新工場稼働



- ・ステンレスやアルミニウムなど高品質素材の配管・加工、特殊配管の加工
- ・大型回転機修理を可能とする大型クレーンの追加導入

26

6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み

③保有不動産の有効活用推進に向けた取り組み

- ・旭テックの旧日本社工場の買換物件として、外食向け定期借地権付土地(底地)を取得。これにより事業の収益力が向上。

遊休不動産



収益不動産

売却代金プラス自己資金(または借入金による買換え)

27

Ⅲ. 2019年3月期 業績見通し



28

1. 2019年3月期の業績見通し（連結）

資源・金属素材関連事業において市況動向や需要動向を見込み
売上高は増加を予想、経常利益も増加を見込んでおります。

（単位：百万円・％）

【連結】	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	増 減	増減率
売上高	29,076	33,000	3,924	13.5
売上総利益	5,803			
販売費及び一般管理費	3,939			
営業利益	1,863	2,000	137	7.4
経常利益	2,057	2,200	143	7.0
当期純利益	1,514	1,571	446	3.8
1株当り当期純利益（円）	133.42	125.83	▲7.59	▲5.7

29

2. 配当

配当実績 (1株当たり)

- **2018年3月期実績 33円**
【中間】 15.0円 【期末】 18.0円
- **2019年3月期予想 33円**
【中間】 16.5円 【期末】 16.5円

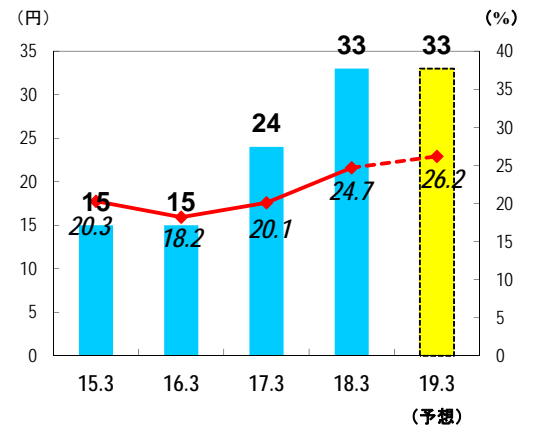
配当方針

安定配当



配当性向
25%前後
の維持

配当金・配当性向の推移



【2018年3月期実績】 24.7%
【2019年3月期予想】 26.2%